

国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 様

目的	従業員数	業種	エリア
災害対策	—	公共機関	四国

「ワイドスターII」 で砂防指定地の雨量 データを確実に伝送

国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所は、雨量監視のためのシステムに利用していた衛星電話を「ワイドスターII」に更改した。それに伴い、遠隔監視制御システムも汎用品で刷新。システム構築費を抑えながらも、セキュリティが高く、複数拠点と同時通信できる雨量監視システムが実現した。



導入前の課題

1

データ通信に回線交換方式を採用していたため、雨量データ伝送にかかる通信料は安くなかった

2

携帯電話の不感エリアに雨量計を設置し、衛星電話機を利用している観測局では、複数拠点からの同時通信ができなかった

3

観測局と事務所の間の中継局を設けて事務所に雨量データを伝送するという複雑なシステム構成を採用していた

導入後の成果

1

「ワイドスターII」の導入により通信方式を回線交換方式からパケット交換方式に切り替え、**通信料を大幅に削減できた**

2

「ワイドスターII」と「ダイレクトコネクトサービス」によって、**セキュリティを確保しつつ複数拠点からの同時通信を可能にした**

3

「ダイレクトコネクトサービス」により中継局の設置が不要になり、**衛星電話の台数削減、システム構成の簡易化ができた**

「『ワイドスターII』を導入して通信料を大幅に削減」

土砂災害対策を目的に、雨量計を設置して、雨量データなどを監視しています。雨量計の設置場所は主に山間部で携帯電話の不感エリアが多いため、衛星電話回線を利用したデータ通信を行っていました。

従来の衛星電話サービスの終了を機に、衛星電話サービス「ワイドスターII」を導入しました。このサービスのメリットは「ダイレクトコネクトサービス」と

いう「ワイドスターII」の専用回線を使ってデータ通信できるサービスが活用できることです。これによって、中継局を経由することなく、複数拠点からの同時通信が可能になり、セキュリティも向上しました。また、中継局が不要になったので設備の設置や運用コストを削減。通信方式をパケット交換方式に切り替えたことで、通信料も大幅に削減することができました。



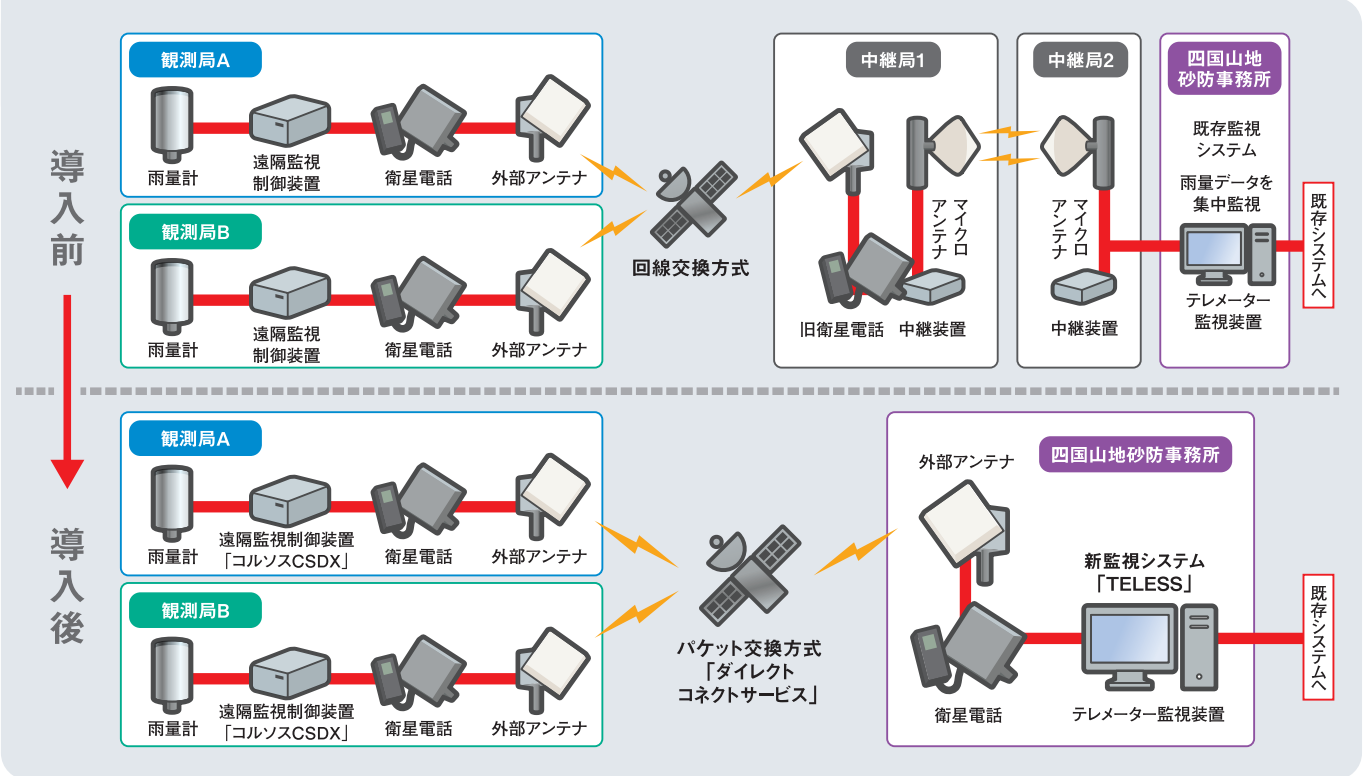
「汎用品を採用し、従来同様の機能を備えるシステムを実現」

「ワイドスターII」の導入にあたり、課題は従来の遠隔監視制御システムが使えなくなり、システムを新しく作ると開発費も含めて膨大な費用がかかることでした。

そこで汎用の遠隔監視制御システムである、「コルソス CSDX」と「TELESS (テレス)」を採用することによって、費用を抑えて、従来同様の機能を備える遠隔監視制御システムが構築できました。「TELESS (テレス)」の定期チェック機能もあり、安定性も向上しました。



導入システムの概略図



■ 営業担当者からのメッセージ



ドコモCS四国 法人営業部 法人営業担当 主査 梅本 典敬

「ワイドスターII」への更改時期に合わせ、従来の衛星電話に接続している遠隔監視制御装置の改良が必要となりました。しかし膨大な開発費がかかることと現状では通信費用が高いことから、これらのお客さまからの要望を解決する方法として、今回のシステム提案を行い導入いただきました。これからもお客さまの要望を実現できる夢のあるシステム提案をタイムリーに行い、「いつも、お客さまのとなりに最寄りのドコモ」を心がけた営業活動をすすめていきます。

お問い合わせ

ヒラどこ ビジどこ タブレット向け電子コンテンツアプリ
 Google Play からダウンロード
 App Store からダウンロード

「ビジどこ」は、あなたの仕事をもっとスマートになるビジネス情報を発信するアプリです。動画など、アプリならではの機能を活かした多彩なビジュアル表現でお届けします。

ドコモの法人向けサイト

docomo Business Online

ドコモビジネスオンライン

検索

パソコン/スマホから

<http://www.docomo.biz/>

